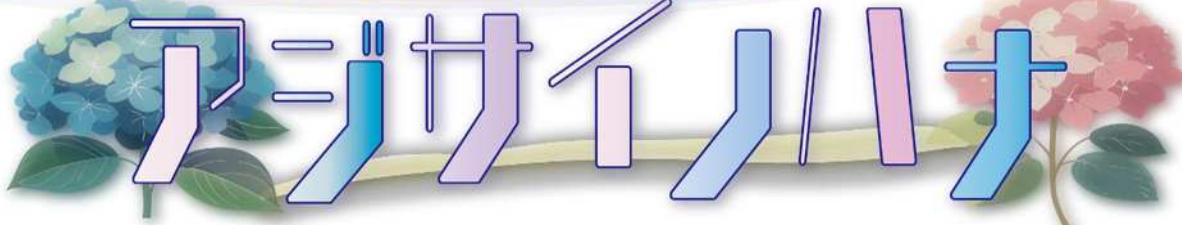


豊田市立崇化館中学校校長室だより



令和8年1月7日(水)発行(文責:松原秀敏)

## 崇化館 ずっと いつまでも すいている (1.7 全校集会より)

令和8年が始まりました。

崇化館中学校のみなさん、明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひします。

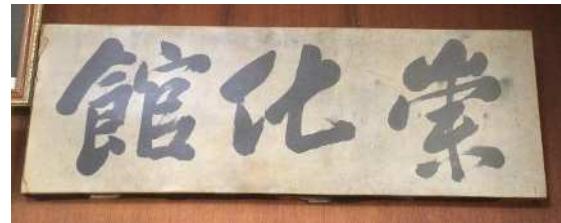


今年も、新年の初めは、マジックで書初めをしますね。

「ず」「つ」「と」「い」「つ」「ま」「で」「も」「す」「い」「て」「い」「る」

右から一文字ずつ読んで【崇化館】の三文字に見えるとうれしいですが、いかがですか？一般的に、横書きは左から右へ読みますが、その昔、縦書きが主流だったころ、縦一行に一文字ずつ書くことがあったそうです。そのように書くと、縦一行目に【崇】、縦二行目に【化】、縦三行目に【館】となります。

さて、この【崇化館】という言葉の由来は、江戸時代にまでさかのぼります。この辺りを治めていた挙母藩の武士の子どもたちの教育機関として、藩校「崇化館」が、1787年(天明7年)に設置されました。当時の縦一文字ずつ書かれた【崇化館】の表札のレプリカが、校長室に飾られています。



その後、藩校「崇化館」は、明治時代の初め1871年(明治4年)まで84年間、続きます。そして、今から66年前の1959年(昭和34年)、市の名称が「挙母市」から「豊田市」へと変更されるときに、伝統の【崇化館】の三文字を復活させて、『豊田市立崇化館中学校』です。【崇化館】の三文字は、江戸時代・明治時代も含め、ちょうど150年間、使われたことになります。



そうかかん

ずっと いつまでも すいている

今年、令和8年は、挙母市立東部中学校の設立から数えて、開校80年目にあたります。時代を超えて、ずっといつまでも好いている【崇化館】を、みんなで創っていきましょう。

それでは、みなさん、

今年も、「名場面」を探しに行きましょう！